

2021 年 11 月 9 日  
 千代田化工建設株式会社  
 総務部 IR・広報・CSR セクション

## 2022 年 3 月期第 2 四半期決算説明会質疑応答要旨 (2021 年 11 月 5 日開催)

2021年11月5日に開催致しました2022年3月期第2四半期決算説明会(電話会議)において、出席者の皆様から頂いた主なご質問と弊社の回答を以下にまとめております。

質問	回答
1 <b>【完成工事高】</b> 第 2 四半期は第 1 四半期比で完成工事高が減収している一方、完成工事総利益率が向上している要因は。	完成工事高の変動はカタール LNG 案件による。第 1 四半期は同案件で大型の設備機器の購入がありコストプログレスの進捗が大きく上がったため完成工事高が伸びた。第 2 四半期は大型機器の購入がなく同案件の完成工事高が巡航速度に戻っている。 完成工事総利益率は第 1 四半期より第 2 四半期が向上している。第 1 四半期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で若干工事の進捗が思わしくなかった案件があったが、第 2 四半期では改善し、完成工事総利益率も通期予想の水準になっている。
2 <b>【完成工事総利益】</b> 第 2 四半期の完工総利益にプラスまたはマイナスとなった特別な要因はあるのか。	第 2 四半期の完工総利益にプラスまたはマイナスとなった特別な要因はない。
3 <b>【原材料価格の上昇】</b> 原材料価格の高騰や輸送費の上昇がプロジェクトに及ぼす影響についてどうみているのか。収益性が見通しより悪化する可能性があるのか。そのリスクを回避するため	銅、ニッケルといった素材関連、海上運賃(フレート)が高騰している影響はあるが、プロジェクト毎に状況は異なる。 コスト増の根本的な原因の一つに新型コロナウイルス感染症拡大の影響がある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響に起因するコスト増、納期の遅延については、フォースマジュールの枠組み等の中で顧客と協議を行っている。現状、資材価格、海上運賃などのコスト増によってプロジェクトの損益が大き

	質問	回答
	の契約上の取り決めなどはあるのか。	な影響を受けることにはならない見込み。
4	【為替感応度】 円安の影響は通期でどの程度か。	為替については包括的に為替予約でリスクヘッジしているため、為替の変動が業績に及ぼす影響はほぼない。
5	【インドネシア・タンゲール LNG】 第1四半期決算時に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていると説明を受けた。現状はどうか。	現状はワクチンが行き渡り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も落ち着き、工事も再開している。特に大きな問題はない。
6	【受注】 1. 本年度下期から来年度の受注の見通しはどうか。  2. 通期予想の修正は。	1. 国内は医薬品を中心に活発な引き合いが出てきており、海外は LNG 案件で新規案件が出てきている 受注残は 1 兆 3 千億円を超しており、優良案件を選択的に受注していく。  2. 受注に関する通期予想の修正は行わない。
7	【成長戦略】 成長戦略として注力する分野、事業について具体的な数値目標も併せてお聞かせ願いたい。	脱炭素社会に向けた新しいエネルギーとして、水素、再生可能エネルギー、蓄電池システムの各分野に注力していく。もう1つは医薬ライフサイエンス分野である。国内における医薬品製造、バイオ医薬で付加価値の高い商談が出てきているので、しっかり受注していく。  収益については、本年 5 月に発表した中期経営計画アップデートで 2030 年に利益貢献比率を既存分野、新規分野で 50%:50%を目標としている。

	質問	回答
8	<p><b>【豪州イクシス LNG】</b>            CCP1 サブコンとの係争については未だ結果が出ていないが、仮に不利な結果が出た場合、顧客との係争とでの損失額と同程度の損失を見込んでいるのか。</p>	<p>第 1 四半期決算においてイクシス LNG 関連のリスク評価を見直した際、サブコンを含む係争リスク全般を評価し直して、その時点での協議状況の変化を反映した適切な金額のコスト・損失を認識した。</p> <p>CCP1 サブコンの仲裁事案については、仲裁の性格上、個別の具体的な説明は差し控えさせていただくが、引き続き協議状況を十分にフォローし、適時適切なリスクの見直しを行い、必要な場合は開示、決算への反映を適時に行っていく。</p>
9	<p><b>【顧客とのリスク分担】</b>            海外企業はランプサム契約からラインバース契約に切り替えている。契約の仕方を変えていく議論はあるのか。</p>	<p>一般論で言えば、顧客と協議のうえでコントラクターとしてのリスクを一部負担してもらう方向感是我々も持っている。個別の案件の状況、顧客の考え方に応じて顧客と合意点を見出していく。</p>

以上

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。